

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 平成20年度予算の状況

ア 平成20年度事業の経営方針

10発電所における年間販売電力量を1億8,300万キロワットアワー、販売電力量収入を15億9,900余万円と見込み、収益的収支の予算を編成しています。

また、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施いたします。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されますので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携等を図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努力します。

イ 平成20年度予算の概要

平成20年度電気事業会計予算

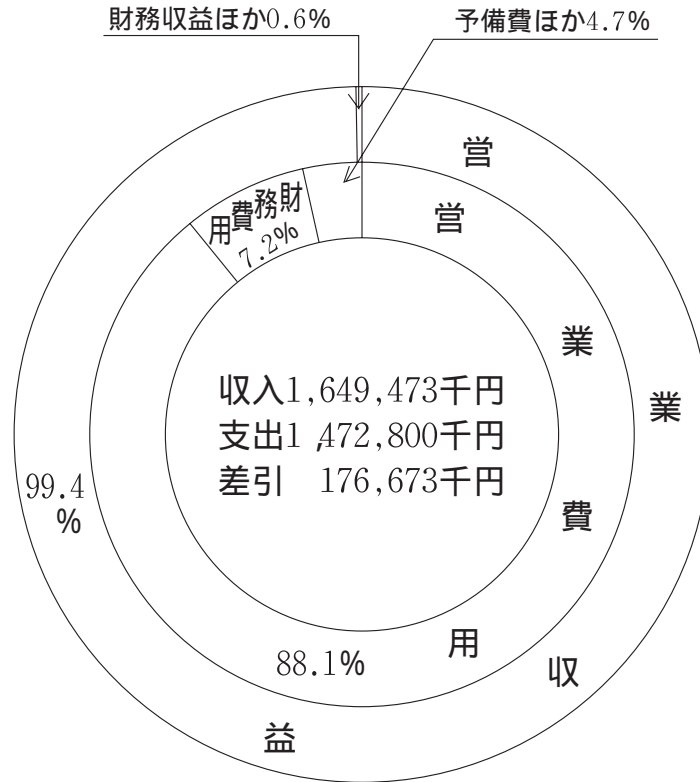
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 電気事業収益	1,649,473	
第1項 営業収益	1,639,259	販売電力料金ほか
第2項 財務収益	9,959	受取利息
第4項 事業外収益	252	事業外管理収益ほか
第5項 特別利益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 電気事業費用	1,472,800	
第1項 営業費用	1,297,894	発電費及び一般管理費
第2項 財務費用	105,998	支払利息
第4項 事業外費用	65,905	消費税ほか
第5項 特別損失	3	固定資産売却損ほか
第6項 予備費	3,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資本的収入	2,667	
第3項 資本剰余金	1,497	国庫補助金
第4項 固定資産収入	/	固定資産売却代
第5項 雑収入	1,169	共同施設受託金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資本的支出	342,702	
第1項 建設費	10,859	平瀬発電所建設
第2項 改良費	60,228	発電所改良工事及び分担金
第3項 投資	/	投資有価証券
第4項 償還金	268,514	企業債償還金
第6項 補助金返還金	100	国庫補助金返還金
第8項 予備費	3,000	

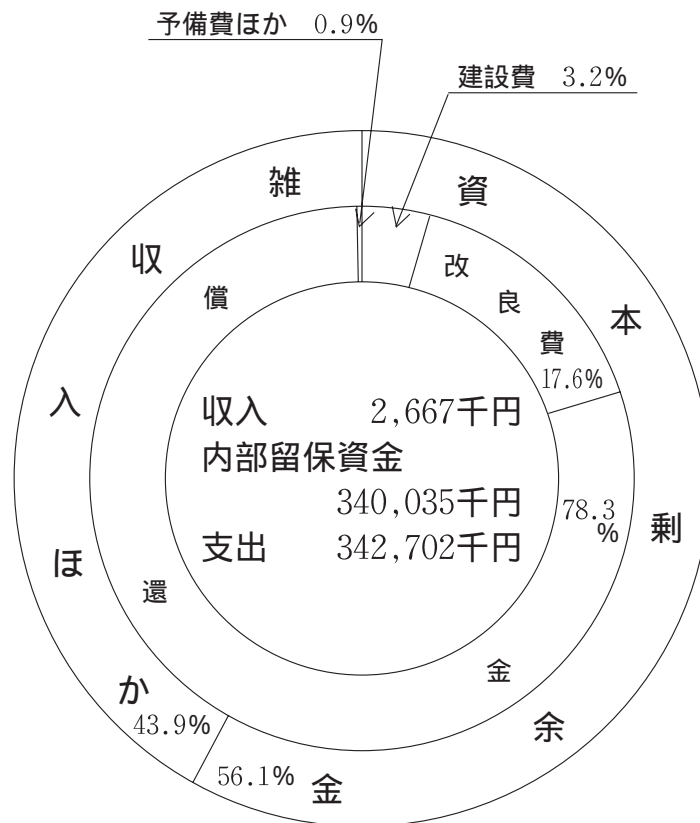
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億4,003万5千円は、内部留保資金で補てんします。

平成 20 年 度 予 算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



平成20年度電気事業予定貸借対照表

(平成21年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産	8,839,590	3 固 定 負 債	795,813
(1) 有 形 固 定 資 産	7,136,642	(1) 引 当 金	795,813
(2) 無 形 固 定 資 産	131,665	ア 退 職 給 与 引 当 金	182,506
(3) 投 資	1,571,283	イ 修 繕 準 備 引 当 金	613,307
2 流 動 資 産	3,569,429	4 流 動 負 債	209,433
(1) 現 金 預 金	3,431,687	(1) 未 払 金	204,610
(2) 未 収 金	137,742	(2) 未 払 費 用	2,276
		(3) そ の 他 流 動 負 債	2,547
		負 債 合 計	1,005,246
		5 資 本 金	9,642,288
		(1) 自 己 資 本 金	7,207,542
		(2) 借 入 資 本 金	2,434,746
		6 剰 余 金	1,761,485
		(1) 資 本 剰 余 金	484,533
		(2) 利 益 剰 余 金	1,276,952
		資 本 合 計	11,403,773
資 産 合 計	12,409,019	負 債 ・ 資 本 合 計	12,409,019

(2) 平成19年度下半期の業務の概要

平成19年度下半期は、上半期からの少雨が続いたため年度を通じての降雨量は、県下主要ダム地点で平年の78.9%となり、平成19年度の販売電力量は目標に対して64.3%、電力料金収入は目標に対して89.3%となりました。

また、経営の安定を図る上から、より一層の経費の節減に努めるとともに、2月補正では、電力料金収入の減等により、収益的収入予算においては、全体で1億3,439万8千円の減額補正を、収益的支出予算においては、人件費の減等により3,547万円の減額補正を行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億311万7千円、収益的支出において14億8,393万8千円、資本的収入において913万5千円、資本的支出において6億6,578万6千円となりました。

なお、中小水力発電開発事業として平瀬発電所の建設事業を継続実施しました。

(参考)

販売電力量・電力料金収入の状況

年 度	降 雨 量 mm	平 年 比 %	販 売 電 力 量 MWH	対 目 標 %	料 金 収 入 千円	対 目 標 %
		平年 2,015	100	目標 7~8年度 190,244 9~10年度 189,451 11~12年度 188,302 13~14年度 187,359 15~16年度 185,085 17~18年度 183,921 19~20年度 183,778	100	目標 7~8年度 2,052,321 9~10年度 2,076,298 11~12年度 2,036,893 13~14年度 1,905,516 15~16年度 1,777,081 17~18年度 1,675,915 19~20年度 1,599,358
10	1,907	96.3	174,513	92.1	2,027,695	97.7
11	2,008	100.9	170,776	90.7	1,982,091	97.3
12	1,519	75.6	135,452	71.9	1,865,879	91.6
13	1,976	102.1	147,764	78.9	1,785,485	93.7
14	1,544	80.7	148,743	79.4	1,788,578	93.9
15	2,115	111.0	176,563	95.4	1,752,682	98.6
16	2,499	136.7	212,153	114.6	1,854,945	104.4
17	1,734	89.1	149,706	81.4	1,582,314	94.4
18	2,361	122.0	185,776	101.0	1,680,425	100.3
19	1,589	78.9	118,157	64.3	1,428,346	89.3

(3) 企業債の状況

(平成20年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		未償還残高
		当年度償還額	償還額累計	
錦川水系発電所	1,803,000	86,440	620,583	1,182,417
佐波川発電所	1,028,000	49,444	771,201	256,799
木屋川発電所	646,000	31,751	364,087	281,913
新阿武川発電所	248,000	11,226	69,073	178,927
生見川発電所	792,000	43,934	638,023	153,977
本郷川発電所	223,000	12,055	185,494	37,506
末武川発電所	883,000	37,019	415,460	467,540
小瀬川発電所	320,000	14,246	175,819	144,181
計	5,943,000	286,115	3,239,740	2,703,260

2 工業用水道事業

(1) 平成20年度予算の状況

ア 平成20年度事業の経営方針

総給水量 5 億8,100余万 m^3 、給水収益82億7,000余万円を見込み、収益的収入の予算を編成しています。

また、将来の水需要に対応するため、建設事業として、生見川、木屋川第2期、佐波川第2期の各工業用水道事業を引き続き実施します。

なお、工業用水の安定した供給に努めるとともに、引き続き、需要の開拓をはじめ、諸施策に取り組み、工業用水道事業会計の経営基盤強化に努力します。

イ 平成20年度予算の概要

平成20年度工業用水道事業会計予算

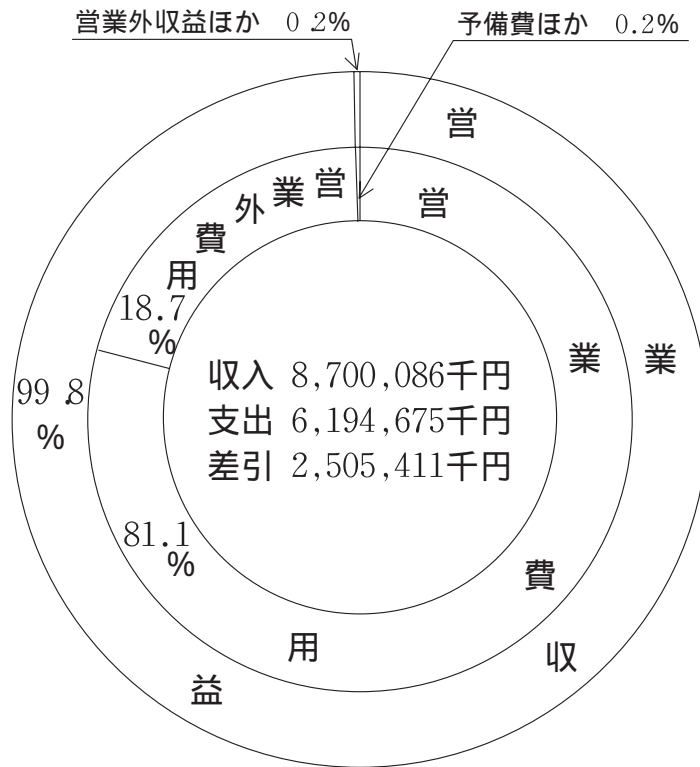
(単位 千円)

区 分	金 額	備 考
収 益 的 収 入		
第1款 工業用水道事業収益	8,700,086	
第1項 営 業 収 益	8,681,457	給水料金収入ほか
第2項 営 業 外 収 益	18,624	受取利息ほか
第4項 事 業 外 収 益	2	雑収益
第5項 特 別 利 益	3	固定資産売却益ほか
収 益 的 支 出		
第2款 工業用水道事業費用	6,194,675	
第1項 営 業 費 用	5,022,450	原水費、配水費及び総係費ほか
第2項 営 業 外 費 用	1,161,949	支払利息及び消費税ほか
第4項 事 業 外 費 用	174	事業外資産管理費ほか
第5項 特 別 損 失	102	固定資産売却損ほか
第6項 予 備 費	10,000	
資 本 的 収 入		
第3款 資 本 的 収 入	4,040,688	
第1項 企 業 債	2,491,000	改良事業資金
第3項 長 期 借 入 金	592,540	
第4項 資 本 剰 余 金	790,114	国庫補助金ほか
第5項 固 定 資 産 収 入	/	固定資産売却代
第6項 雑 収 入	167,033	共同事業者工事負担金ほか
資 本 的 支 出		
第4款 資 本 的 支 出	7,562,859	
第1項 建 設 費	405,300	建設事業費
第2項 改 良 費	3,220,735	施設改良事業費、ダム分担金
第3項 投 資	/	投資有価証券
第4項 償 還 金	3,910,355	企業債償還金
第5項 補 助 金 返 還 金	16,468	
第7項 予 備 費	10,000	

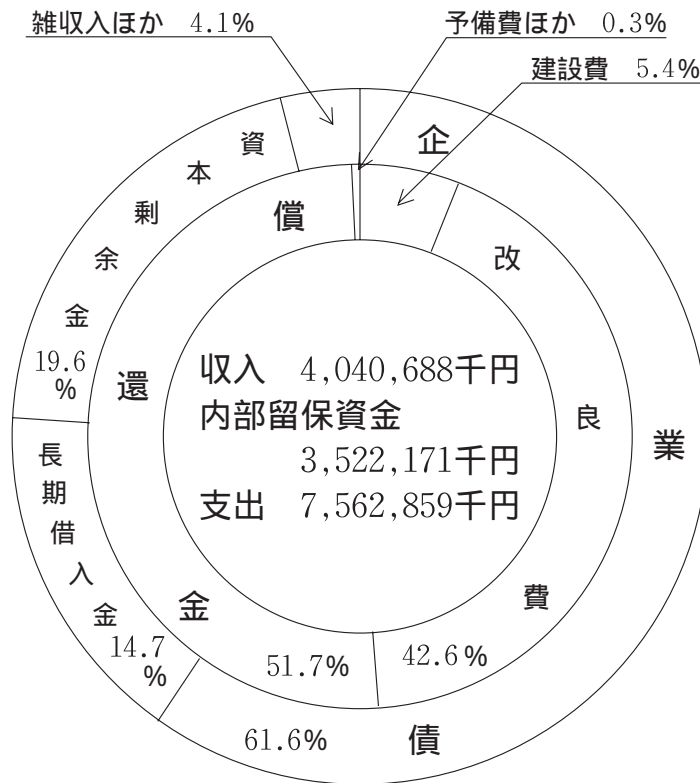
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額35億2,217万1千円は、内部留保資金で補てんします。

平成 20 年 度 予 算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



平成20年度工業用水道事業予定貸借対照表

(平成21年3月31日)

(単位 千円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産	154,694,425	3 固 定 負 債	2,957,583
(1) 有 形 固 定 資 産	145,078,768	(1) 長 期 借 入 金	1,324,443
(2) 無 形 固 定 資 産	9,615,655	(2) 引 当 金	1,633,140
(3) 投 資	2	ア 退 職 給 与 引 当 金	114,770
2 流 動 資 産	6,844,661	イ 修 繕 準 備 引 当 金	1,518,370
(1) 現 金 預 金	5,940,101	4 流 動 負 債	802,233
(2) 未 収 金	863,007	(1) 未 払 金	770,198
(3) 貯 蔵 品	41,553	(2) 未 払 費 用	27,455
		(3) そ の 他 流 動 負 債	4,580
		負 債 合 計	3,759,816
		5 資 本 金	100,490,109
		(1) 自 己 資 本 金	51,826,061
		(2) 借 入 資 本 金	48,664,048
		6 剰 余 金	57,289,161
		(1) 資 本 剰 余 金	52,301,603
		(2) 利 益 剰 余 金	4,987,558
		ア 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	4,987,558
		資 本 合 計	157,779,270
資 産 合 計	161,539,086	負 債 ・ 資 本 合 計	161,539,086

(2) 平成19年度下半期の業務の概要

平成19年度は、9月から11月までの降水量が平年比の約35%と極端に少なく、一部の地域で長期にわたる自主節水を余儀なくされたことにより、1年を通じての実給水量は、契約水量に対し66.3%（昨年度71.7%）となりました。

なお、平成19年度下半期も引き続いて将来の水需要に対応するため、建設事業として生見川、木屋川第2期、佐波川第2期の各工業用水道事業を実施しました。

また、平成18年度に引き続き、工業用水道事業会計の経営基盤強化に取り組み、需要の開拓、料金の適正化等に努める一方、一般会計から長期借入金を受けました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算においては、給水収益の増加等により1億1,879万3千円の増額補正を、収益的支出予算において、営業外費用の増加等により181万4千円の増額補正をしました。また、資本的収入予算においては、企業債の減等により13億6,737万7千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少等により6億6,618万9千円の減額補正をしました。

この結果、最終予算は、収益的収入において98億3,489万1千円、収益的支出において69億2,347万2千円、資本的収入において38億4,219万1千円、資本的支出において101億7,373万7千円となりました。

(3) 企業債の状況

(平成20年3月31日)

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		未償還残高
		当年度償還額	償還額累計	
小瀬川工業用水道	2,571,000	100,606	856,253	1,714,747
柳井川工業用水道	126,000	7,825	71,943	54,057
向道・川上工業用水道	1,091,000	68,999	451,834	639,166
周南工業用水道	8,040,400	235,951	1,296,051	6,744,349
佐波川工業用水道	445,600	25,841	178,805	266,795
厚東川工業用水道	6,574,000	375,993	2,747,833	3,826,167
木屋川工業用水道	5,043,000	344,703	2,407,413	2,635,587
生見川工業用水道	5,275,000	1,408,133	4,418,102	856,898
富田夜市川工業用水道	4,638,000	319,246	3,929,914	708,086
厚東川第2期工業用水道	4,089,000	276,915	2,594,126	1,494,874
厚狭川工業用水道	7,041,000	830,340	4,415,546	2,625,454
木屋川第2期工業用水道	6,305,000	454,182	4,190,374	2,114,626
末武川工業用水道	4,555,000	428,535	2,975,303	1,579,697
佐波川第2期工業用水道	6,020,000	1,311,198	4,755,016	1,264,984
小瀬川第2期工業用水道	10,500,600	887,234	5,624,457	4,876,143
本 局	185,000	31,083	185,000	0
計	72,499,600	7,106,784	41,097,970	31,401,630

3 総合医療センター事業

(1) 平成20年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数170,090人、外来患者延べ数220,887人を見込み、これを基礎に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益111億3,397万1千円、病院事業費用110億7,963万円で、前年度当初予算と比較して、収益で2億4,048万7千円の増加、費用で1億9,024万8千円の増加を見込んでいます。

また、資本的支出については、15億6,042万8千円を計上し、企業債償還金10億6,126万2千円のほか、病院施設を整備するため8,916万6千円、高度医療機器等を購入するため4億500万円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成20年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増 減 (A)-(B)
1 病 床 数	504床	504床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	170,090人	171,288人	△ 1,198人
外 来	220,887人	229,075人	△ 8,188人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	466人	468人	△ 2人
外 来	909人	935人	△ 26人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	89,166千円	100,981千円	△ 11,815千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	405,000千円	919,500千円	△ 514,500千円

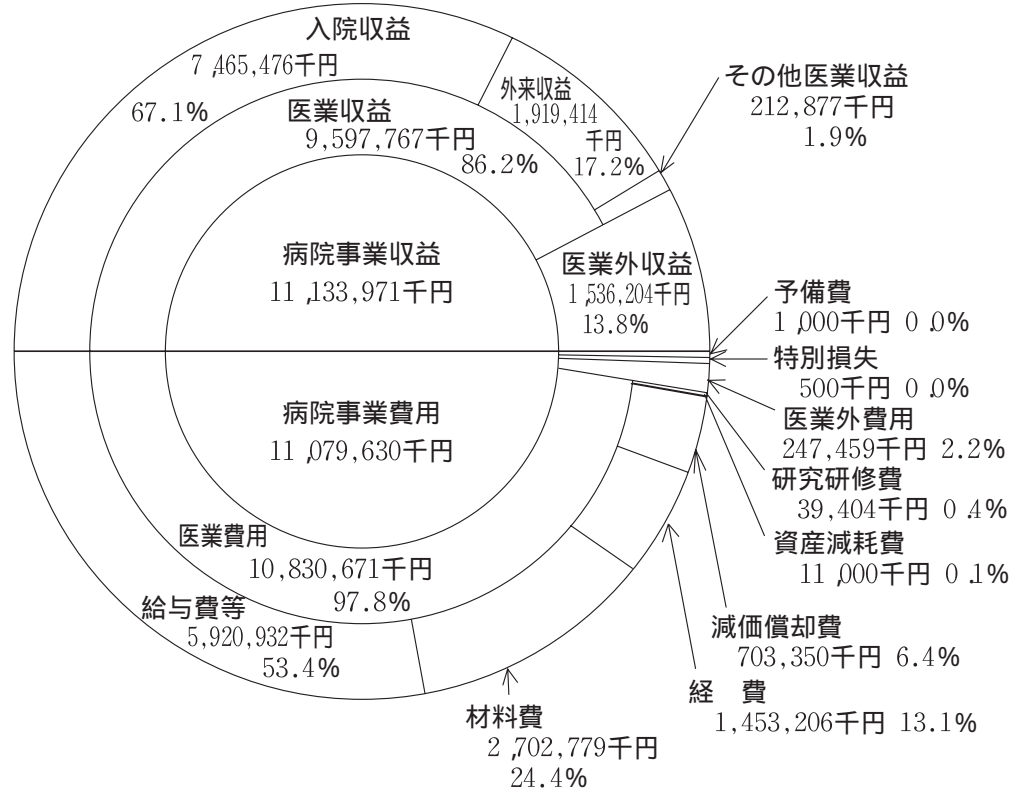
平成20年度総合医療センター事業会計予算の前年度との比較 (単位 千円)

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予定額 (B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B) %	備 考
収 益 的 収 入					
病院事業収益	11,133,971	10,893,484	240,487	102.2	
1 医業収益	9,597,767	9,396,316	201,451	102.1	
2 医業外収益	1,536,204	1,497,168	39,036	102.6	
収 益 的 支 出					
病院事業費用	11,079,630	10,889,382	190,248	101.7	
1 医業費用	10,830,671	10,478,509	352,162	103.4	
2 医業外費用	247,459	409,373	△ 161,914	60.4	
3 特別損失	500	500	0	100.0	
4 予備費	1,000	1,000	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資本的収入	846,262	1,446,928	△ 600,666	58.5	
1 企業債	489,000	1,001,000	△ 512,000	48.9	
2 負担金	315,789	402,192	△ 86,403	78.5	
3 寄付金	41,473	43,736	△ 2,263	94.8	
資 本 的 支 出					
資本的支出	1,560,428	2,047,802	△ 487,374	76.2	
1 建設改良費	494,166	1,020,481	△ 526,315	48.4	
2 企業債償還金	1,061,262	1,022,321	38,941	103.8	
3 予備費	5,000	5,000	0	100.0	

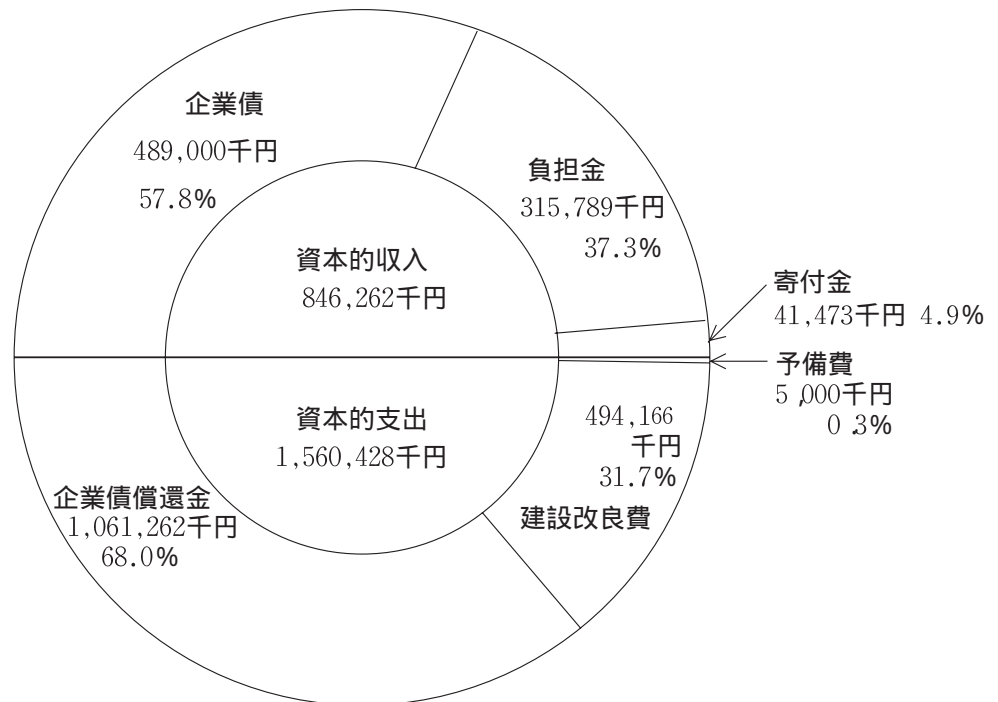
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額7億1,416万6千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金及び資本的収支調整額）で補てんします。

平成 20 年 度 当 初 予 算

収益的收入及び支出



資本的收入及び支出



(2) 平成19年度下半期の業務の概要

公共医療機関としての使命と公営企業としての経済性の調和を図りながら、県民への医療サービスの向上に努めてまいりました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において6,592万2千円の減額補正をしましたが、これは、外来収益の減少等によるものです。また、収益的支出予算において2億9,738万8千円の増額補正をしましたが、これは、給与費の増加等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において108億2,756万2千円、収益的支出において111億8,677万円、資本的収入において35億1,410万3千円、資本的支出において41億2,534万2千円となりました。

(3) 企業債及び一時借入金の状況

(単位 千円)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		平成19年度末現在高
		当年度償還額	償 還 額 累 計	
企 業 債	15,030,000	3,113,162	8,508,596	6,521,404
一 時 借 入 金	—	—	—	0

4 こころの医療センター事業

(1) 平成20年度の予算及び経営方針

業務予定量については、入院患者延べ数62,780人、外来患者延べ数22,785人を見込み、これを基礎に収益収支の予算を編成しています。その予定額は、病院事業収益16億9,185万1千円、病院事業費用18億7,707万9千円で、前年度当初予算と比較して、収益で1億9,764万4千円の増加、費用で8,596万円の減少を見込んでいます。

また、資本的支出については、8億8,260万8千円を計上し、企業債償還金2,390万円のほか、病院施設を整備するため8億5,870万8千円を措置しています。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

平成20年度業務予定量と前年度との比較（当初予算比較）

区 分	平成20年度 (A)	平成19年度 (B)	増 減 (A)-(B)
1 病 床 数	180床	180床	0床
2 年 間 患 者 数			
入 院	62,780人	61,722人	1,058人
外 来	22,785人	17,150人	5,635人
3 一 日 平 均 患 者 数			
入 院	172人	169人	3人
外 来	93人	70人	23人
4 主 要 な 建 設 改 良 事 業			
病 院 施 設 整 備 事 業	629,002千円	402,108千円	226,894千円
医 療 器 械 器 具 及 び 備 品 購 入	229,706千円	3,233千円	226,473千円

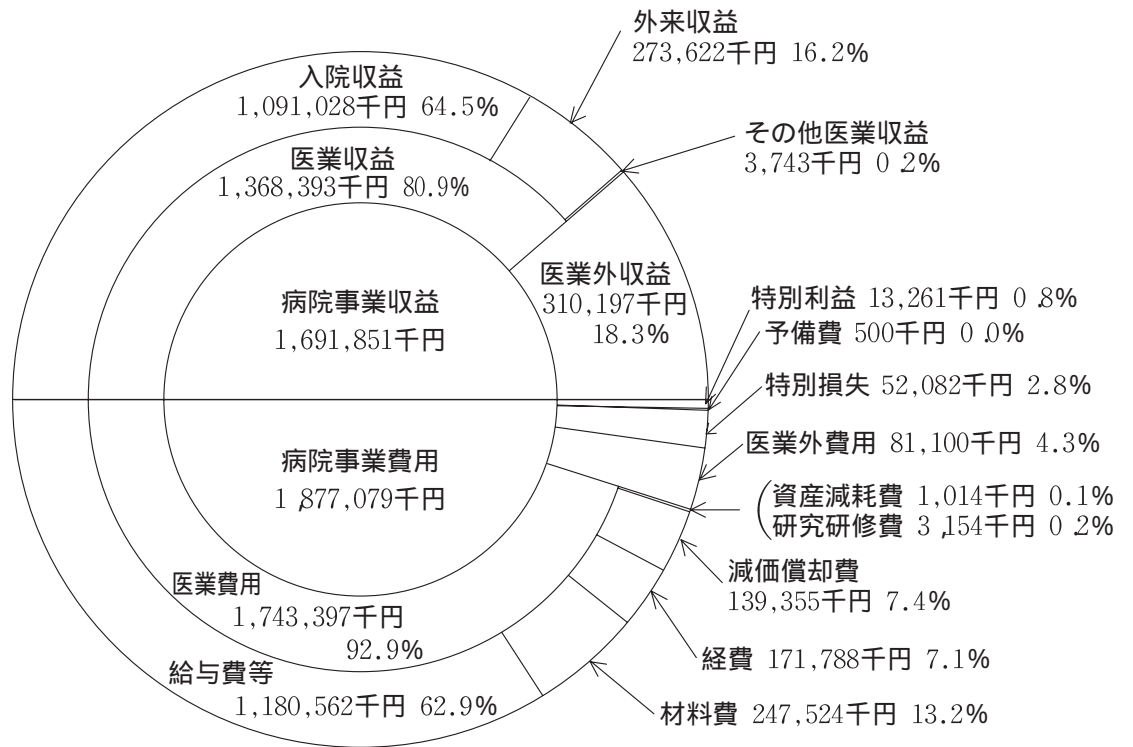
平成20年度こころの医療センター事業会計予算の前年度との比較（単位 千円）

区 分	本年度予定額 (A)	前年度当初 予定額 (B)	比 較 (A)-(B)	(A)÷(B) %	備 考
収 益 的 収 入					
病院事業収益	1,691,851	1,494,207	197,644	113.2	
1 医業収益	1,368,393	1,181,221	187,172	115.8	
2 医業外収益	310,197	312,886	△ 2,689	99.1	
3 特別利益	13,261	100	13,161	13261.0	
収 益 的 支 出					
病院事業費用	1,877,079	1,963,039	△ 85,960	95.6	
1 医業費用	1,743,397	1,707,079	36,318	102.1	
2 医業外費用	81,100	63,210	17,890	128.3	
3 特別損失	52,082	192,250	△ 140,168	27.1	
4 予備費	500	500	0	100.0	
資 本 的 収 入					
資本的収入	881,788	411,482	470,306	214.3	
1 企業債	848,000	403,000	445,000	210.4	
2 負担金	33,788	8,482	25,306	398.3	
資 本 的 支 出					
資本的支出	882,608	415,812	466,796	212.3	
1 建設改良費	858,708	405,341	453,367	211.8	
2 企業債償還金	23,900	10,471	13,429	228.2	

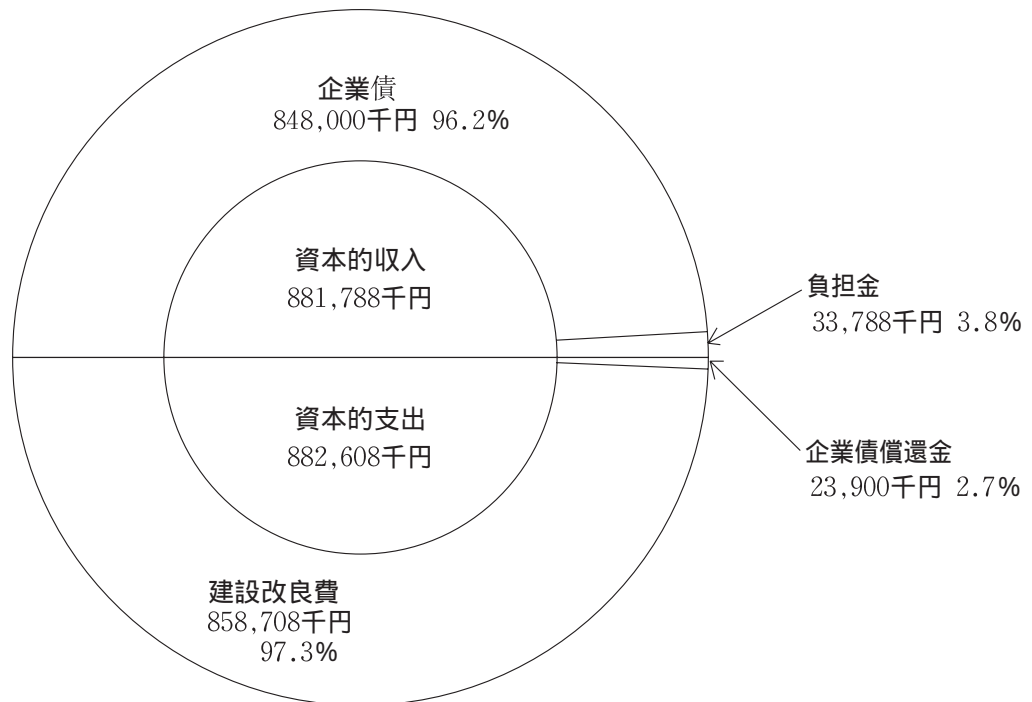
資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額820万円は、内部留保資金（当年度資本的収支調整額）で補てんします。

平成 20 年度 当初 予算

収益的収入及び支出



資本的収入及び支出



(2) 平成19年度下半期の業務の概要

公営企業として能率的かつ合理的な経営に努めるとともに、県下唯一の公立精神科病院として先駆的で良質な医療により精神障害者の治療と保護を推進し、県民の精神的健康の維持向上に努めてきました。

下半期における予算の補正については、収益的収入予算において、5,757万8千円の増額補正をしていますが、これは、入院収益の増加等によるものです。

また、収益的支出予算において1億3,836万7千円の減額補正をしましたが、これは給与費の減少等によるものです。

この結果、最終予算は、収益的収入において15億5,178万5千円、収益的支出において18億2,467万2千円、資本的収入において4億3,441万9千円、資本的支出において4億3,872万1千円となりました。

(3) 企業債及び一時借入金の状況

(単位 千円)

区 分	発行総額	償 還 額		平成19年度末現在高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,053,000	58,336	160,500	3,892,500
一 時 借 入 金	—	—	—	0